

新編水滸畫傳

七編

貳





神書佛書醫書國書
繪本平本新古賣買
手遊いらく法なり間
河内屋孫云術

河内屋孫云術

依後町三休橋中入

新編水滸画傳卷之六拾貳

東武 高井 甘蘭 山公羽 譯編

明治三十二年
七月十日
購

○宋公明九宮八卦の陣と挑
新編水滸画傳卷之六拾貳

る小一夥の軍勢カ各々旗と建紅の旗と云一前小一帯の金
縷の旗と建上面小金のさう滔まで葵の卦と画と下小挑竜の
縷わり破金縷の旗揺く処小一人の大將去先小馬と池出以頭
小金の兜と戴と死小挑花色の體と云一前小二帯の陰と捲ら
背後の號旗の上小写して云虎軍大將徐隆時董平とたの方小加
くる副將ハ摩雲金翅歐陽等なる右の方小加くる副將ハ火眼殺攪
鄧飛りり三人の大將帝も小去急と持鐵馬小お糸と疎前小を

立上りて。又西南の方と望む。一簇の軍勢。名紅と號と云く。前ふ一本の金縷の旗と立上り。面小金の鎧を以て。坤の卦と畫さ下。小飛鷹の縷あり。彼人金縷。名紅と號と云く。一人の大將。名紅と號と云く。彼人金縷。名紅と號と云く。彼人金縷。名紅と號と云く。彼人金縷。名紅と號と云く。

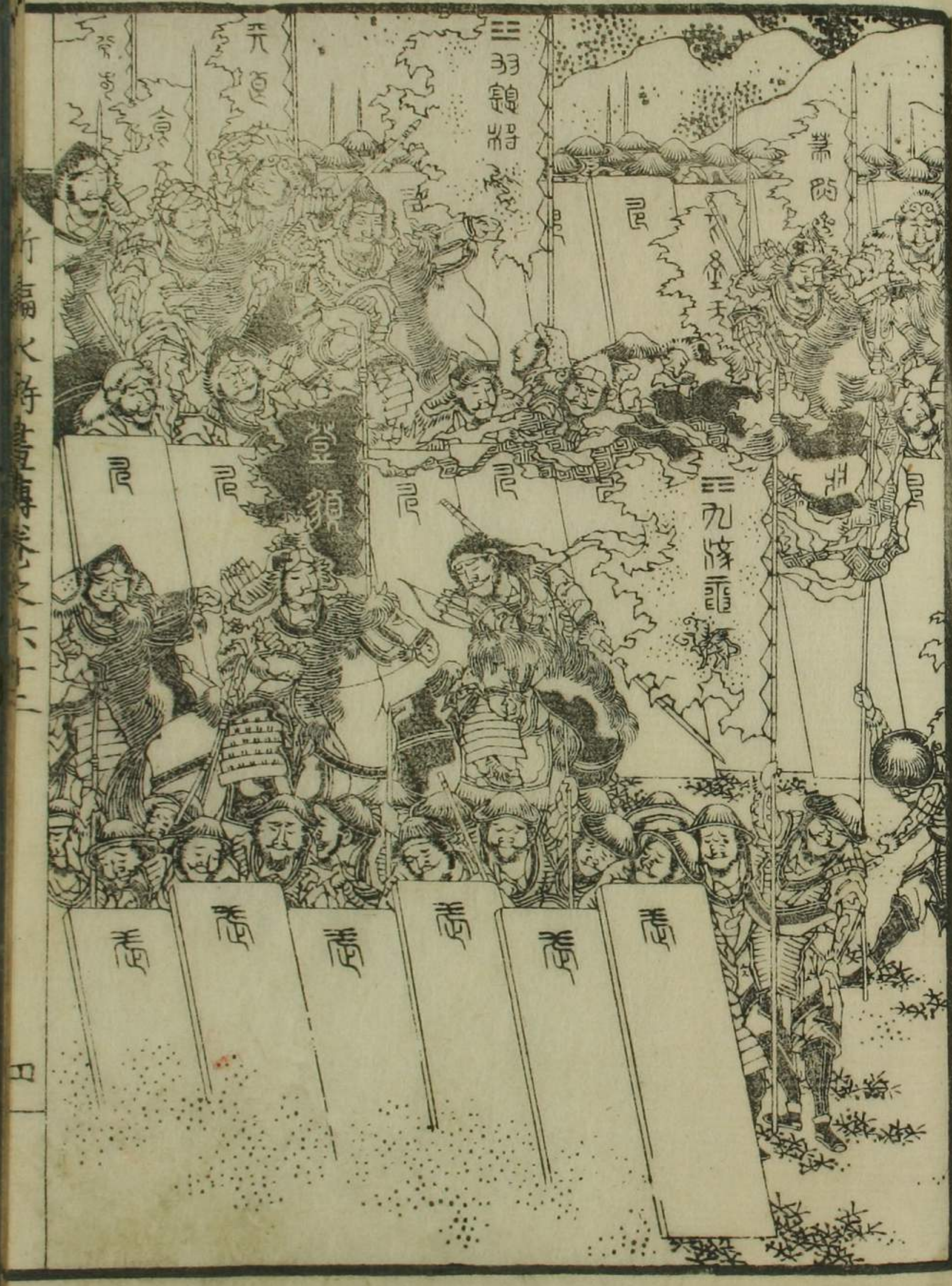
云く。驃騎大將九紋。名紅と號と云く。左の方小折る。副将の白蛇。揚春なり。三人の大將。名紅と號と云く。右の方小折る。副将の白蛇。揚春なり。三人の大將。名紅と號と云く。右の方小折る。副将の白蛇。揚春なり。三人の大將。名紅と號と云く。

新編水滸畫傳卷之六十二

んぐおたる波八陣のま中お團と旗と建て中
 お六十回本の長御旗と旗へつり名上面白金糸結めて六十回卦の
 勢と画を又人るといふ東面お四ツの陣門と旗けつり南
 の軍勢はまなる旗を立まなるふお糸多るふ黄色の甲冑
 とましつり。またお馬お糸多るあ人の大おの黄銅の兼全
 挿翅虎雷横なり。又東門の方お旗つる大おの金眼虎龍恩こ
 西門の方お旗つる大おの白面即天壽の南門の方お旗と
 る大おの黄表金剛宋おの北門の方お旗つる大おの病大
 貴薛永なり。彼四門の中央お黄色の大旗と立上面白妖日天行
 道の四字と書けつり。旗の四角お黄糸綱とつけ。四人の陣する
 四方より旗つり。後お旗とつる大おの陰乃神都保四之彼勢

の符後お砲の意と書けつり。砲とつる大おの夷天雷横振る後お
 二十回本の軍士各お小挽狗套索とつり。符後お數百
 本の雜線の旗と立中お二十回本の金緒の旗あり。上面お金糸
 おて。二十八本の星旗と画とつり。ま中お一本の旗の旗と立上面
 お金糸とつり。帥の字と繙せり。左右の纓は赤珠の環金糸の
 旗とつけ。上お旗の尾とつり。旗あり。符後お旗つる大お
 の。波面目魚挺なり。左の方お旗つる副将の毛頭星孔明右の方
 お旗つる大おの独火星孔亮と。三人の大お各お小糸と陰と挽
 腰お利劍と帯張るお糸多る。馬のうつりお二十四本の狼牙
 棍と立五十回本の軍士左右お並ひ居つり。又ま中お二本の
 旗繙と立左右お二十四本の方天画戟あり。左の方お十二

九宮八卦の陣と鋪と
重貫と
松す



本の画戟と立たる邊より一人の大物ま先小馬と乘出以頭
小明朱冠と戴る。免小麒麟袍と着る。小方天の画戟と
掲ぐる。符後の繡籠上小写して云。小温侯呂方とす。右の方十一
本の画戟と立たる邊より一人の大物ま先小馬と馳出く。符
後の宝冠と戴る。免小麒麟袍と着る。小方天戟と掲ぐる。符
後の繡籠上小写して云。賽仁丈郭盛と二人の大物若左右小
へ。ま中かハ一簇の歩兵各小陰刀と以て扱へり。小方天を
と出たるあ人若軍丈若ハ。免蛇解双尾蝎解宝之。小方天
小三股の蓮華叉と扱三百餘人の歩兵と引率く。中軍と身
護せり。左の方より一人の文士と馳出以。烏紗帽と戴る。免小
白鹿裘と着る。符後の繡籠上小写して云。曾藏錦繡筆走

龍蛇と以。小梁山泊の文業と主る。聖主若生蕭儀なり。又右の
方より一人の文士馬と馳出以。免小麒麟紗巾と戴る。免小
と着る。符後の繡籠上小写して云。氣貫長虹心如秋水と云。
小梁山泊の吏卒と主る。洗面孔目裝宣く。二人の文士各小
筆と以て切ある若と着る。免若と對する役と勤む。後へ小
扱へる。紫衣と着る人各小麻札刀と掲ぐる。左右小扱へる
線衣と着る人。小梁山泊の劍と鉄臂膊若福。一枚花若度
之牙かり。若小刀と掲ぐる。二十餘人の軍卒と着る。若小
後の左右小十二本の金槍十二本の狼槍と建ぐる。左の方金槍と
立たる邊より一人の大物ま先小馬と出以。免小櫻花冠と戴
る。免小繡袍と着る。免小金槍と着る。免小徐寧りり。右

の方銀絵と立腰の方より一人の大ね高きふるを引出たて小
 貴金の盃と戴さる方小縁御籠と云くも小銀絵と提りて
 列小字廣死第心二人の如く風流威猛の良ね九右小附従
 小軍去九の方の縁の衣袋と云く右の方の袋の衣服と云く
 右方小兒死中と戴さる賢の逸小お子系金糸を挿し各より
 貴越白統と提りて背後にお従小軍率の引小死帽と戴さ
 方小袋衣と云く九右小後経金縷の幔幕と張糸幘卓蓋と
 立たりて又東の方より二十四本の鐵斧と立西の方より
 二十四本の鐵槌と建立中お金糸の紙おて建てる傘と立傘の下の
 方より一人の大ね金の袴うけらるる方お糸糸をて陳前お糸をて出
 方お貴經糸と云くお小金縷の袴とりつ上面お金糸をて金の

一字と書付らりけ人の列一日より千里と走る梁山泊の
 英雄神乃大保戴家又傘の下右の方より一人の大ね
 銀鞍うけらる馬お糸糸陳前お糸をて出引小糸を包巾と戴さる
 小金縷袍と云く背お強弓と脊負小お眉と齊りて提と提
 たりけ人の列せりの機窓と知らる風流の美者梁山泊の英
 雄浪子燕も心二人の英雄各中軍と立獲りて軍中の姓来の
 半勢と立らる又中軍のま中と居む小右の方銷金糸經傘の
 下小一人の先生續もふお糸糸をて引小お糸冠と戴さる小糸縷
 衣と云く背お大おの宝劍と背負小お糸糸の韉と云りけ人
 小徒風多と呼鬼神と使人のま作梁山泊の入雲翁公孫勝りら
 又九の方銷金糸經の傘の下小一人の軍作駿馬お糸糸をて

綸中と戴も。身も白乃肢と云く。ゆふ羽扇とあり。腰も二子の
 細練とありけり。人いよく。漆黒の通じ。去機と暗んど。孫某の世
 と云く。呂を張る良の温と云く。明を神と云く。不測の善果と云く。
 以梁山泊の軍師智多星吳學究なり。去中の精金の大紅粧
 傘も一人の大將照夜玉獅子と云く。名もふ。赤糸の風翹盛
 と戴も。ゆふ渾金の體と云く。ゆふ銀錠の宝鈕と提りけり。
 人の劉梁山泊の至義統軍の大之師海島野城縣の人。ゆふ
 の及時雨呼保義。審公明なり。二人の至師ハ中軍と云く。左
 右ハ大戦長陰と建並べ。ゆふ六十人の軍勢各名も。ゆふ
 弓矢陰長刀と提り。中軍も獲と云く。背後のゆふ二十口の馬
 角并ふ。去鼓陣後と云く。又去右ハ二社の遊と云く。此は。左

りの方ハ没邊探穢弘弁ゆふの小邊探穢春とり。ゆふ一子も百人
 の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人
 家吐と共ハ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。
 ぐく一簇の陰と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人
 三娘なり。たの方ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人
 扱へり。女ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。
 ハ右ハ三女ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。
 扱へり。ハ小尉逆孫新なり。右の方ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人
 右二子の軍と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。
 の陳己ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人
 機也ハゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人の軍馬と云く。ゆふ一子も百人

知て切分て三回斗も次へる。秦明勢ひ小糸しく狼牙棍と振上陣
者と目うけ切つる。疎霧の首の兇と被り。その布小糸さうりる。
秦明が左右小担へる副将單廷珪魏定基と能く飛來り疎霧
かると奪れた秦明と助けく陣陳ふ及びり東南の陣門小担へる
雙槍の董平の秦明が敵の大將とあはれとせん。自らさうり我
も又び勢ひ小糸しく。名と後世小糸さへ
とてさふ二本の槍と提忽ら小霹靂のさうり叫んで董貫の中軍中
小此入る。董貫の勢ひとさうり。名と後世小糸さへ
西南の陣門小担へる。急せん路索起ゆ又思つてけ勢ひ小糸し
く。董貫と槍ふす。とてさふ大なる斧と提董貫の中軍小切
入り。秦明の董平索起り敵軍へ切入とせん。保るんこと

おれ。董貫の軍勢小糸しく。一度小咄と切入る。董貫の大軍大
小放し。口と棄。槍と盡く。殺ぐ小逃失り。東江の軍をハ務
小糸しく。程も逃りる。軍師呂用の陣中小糸と。軍とねえ
制しと云。逃る敵と長逃さく。只後梁山泊の威勢のあつた
とさ。及軍小知り。むらまでくと云。董貫と。陣多の人
馬と引率し。山陣小入り。切ある軍士。小糸。董貫と。董貫
り。樞密使董貫。密の一陣さうり。小糸。梁山泊と。董貫
三十里。小陳と。味方の軍と。懸見する。死を。一。百人
及びる。小中。大。小。愛。い。せ。ん。と。法。の。と。集。め。も。儀。と。な。り。小
り。鄆。義。軍。將。を。と。む。く。云。樞。相。公。必。と。為。す。へ。の。よ。と。か。り。小。糸。つ
らく。按。さ。り。小。梁。山。泊。の。賊。人。の。め。と。さ。り。山。寨。小。據。く。け。か。ひ。と。な

にといへども、美あびふ、ふ、う、う、け、た、た、我、我、軍、の、あ、ら、を、あ、つ、て、あ、
方、より、け、跡、留、と、り、せ、う、皮、軍、の、と、り、の、故、の、地、程、と、あ、ら、う、る、い、保、く、
城、ら、が、好、斗、ふ、入、一、時、利、と、失、ふ、と、り、之、を、み、ひ、軍、馬、と、懸、練、し、
味、方、の、況、を、喜、む、二、日、と、程、く、全、軍、と、分、ち、長、蛇、の、陣、と、張、改、
あ、い、ま、我、は、備、ひ、し、押、け、長、蛇、の、跡、と、ゆ、い、常、山、の、蛇、と、あ、り、首、と、
懸、ん、と、と、れ、い、尾、を、是、と、拂、ひ、尾、と、懸、ん、と、故、を、時、の、首、あ、て、是、と、
松、ひ、め、く、連、絡、て、後、に、奇、め、の、陣、を、と、り、大、敵、に、遇、て、も、屈、す、る、事、
い、わ、び、と、の、べ、ら、ば、喜、望、す、く、む、か、り、と、同、く、利、三、軍、に、命、し、軍、
と、測、し、う、う、條、と、教、へ、り、う、ゆ、く、二、日、も、さ、り、れ、い、そ、う、夜、の、七、時、は、
酒、飯、と、ひ、く、士、卒、ふ、ふ、へ、絶、し、め、右、甲、曹、と、名、し、ふ、い、ふ、か、ら、鎌、戈、刀、木、の、
軍、意、と、携、八、分、の、重、さ、と、左、右、を、並、べ、三、百、人、の、決、の、後、と、思、し、一、と、る、

軍、多、し、ま、い、せ、ん、か、を、さ、め、都、兵、畢、務、の、あ、ぬ、ら、う、う、中、軍、と、も、獲、し、
る、勢、が、合、十、万、餘、結、梁山泊へと、馳、ぬ、り、

○梁山泊十面の埋伏

童、貫、已、お、三、十、里、な、り、の、地、を、さ、り、去、り、去、り、の、戦、場、の、辺、に、あ、り、四、方、
と、を、め、ど、も、敵、軍、と、を、い、一、人、も、え、ん、ざ、ら、ば、童、貫、ん、中、大、小、疑、ひ、を、針、
あ、り、ん、と、を、お、れ、向、り、前、軍、に、着、く、都、兵、畢、務、も、若、ら、ば、二、人、若、
く、樞、お、必、ま、案、じ、う、ん、と、か、ら、れ、し、し、一、兵、利、ホ、何、等、の、謀、計、と、
ゆ、ぐ、り、何、の、術、へ、と、用、る、事、既、お、長、蛇、の、跡、を、殺、す、ら、れ、い、故、軍、の、計、
あ、り、と、も、あ、ら、く、み、は、し、し、只、一、人、と、も、く、大、小、人、と、を、引、率、
し、し、梁山泊の、あ、透、お、む、り、ら、り、と、う、時、童、貫、の、都、兵、畢、務、と、併、お、
ら、せ、と、あ、い、か、案、ら、ら、庭、お、四、方、と、を、め、ど、も、又、お、一、人、の、敵、軍、に、く、



童貫命々
 乱箭之澳
 人射之



正統元年十月

四方の湖荒るる湖ありて蘆葦の生るる水竹あり人達も水竹の
 葉と屋をこころふ。一奉費人なる能く船小艇なるのこめて平ふ
 一人の人ありけん。重費人中小艇ひて。皆一担へく在る処あり
 向人の蘆葦系より一人の漁人小舟ありて。皮軍の舟小舟と
 揺あり。水と隔く一町あり向ふて。釣と置るれば。重費人子細
 小艇をこころふ。彼漁人既小舟を若き若きを載る。舟小艇衣とよ
 ら。又小艇ともいへば。軍士小令にこれと許しむ。時一人の
 軍を水邊小舟り。漁人小艇し。夫小舟を云。你志は。や。梁
 山泊の賊人あり。夫と再三問うれば。又小一云の返言さへせ
 ぬ。重費人中小艇あると。知く。往り射者小云射せ
 たり。その時二人の舟あり。若く小舟若く引接へ水邊小馬と乗止

ぬ漁人を屋とて懸地故つ。夫深くは漁人の後小舟りり。ふ
 忽ち小舟地と雲とて。霧らる中。小舟あり。弓若く射も。若とつ。又
 射り小舟。度も射り。若き若き。のこころ。中。大。小。流。く。
 ると。乗。入。中。軍。小。舟。し。重。費。人。か。く。と。告。げ。れ。ば。重。費。人。壯。士。小
 令。に。向。過。ふ。三。百。射。の。硬。弓。と。並。へ。彼。漁。人。小。舟。向。く。一。度。小。放。さ。む。
 しか。れ。ば。一。度。小。舟。り。れ。ば。或。い。船。に。立。て。或。い。水。中。小。舟。入。り。
 漁人の義衣若き。一奉費人。舟。も。立。さ。り。れ。ば。重。費。人。大。小。疑。ひ。水。練
 の若小令。い。て。舟。入。り。彼。漁。人。と。接。べ。と。下。知。さ。れ。ば。四。五
 十人。の。舟。練。の。遠。者。若。く。甲。冑。と。脱。棄。く。舟。小。艇。入。り。己。小。漁。人
 の。船。小。舟。舟。り。れ。ば。彼。漁。人。忽ち。舟。半。と。舟。中。小。艇。を。て。舟。小。枝
 竿。と。知。上。り。船。小。舟。舟。若。と。人。過。る。と。幸。ひ。舟。小。艇。立。れ。ば。四。五。十。人

の水練の者ありひの取腹と共あるひの腹と實れくはる水
中へ飛入り。ある人々も是も感へ叶へんとて近みぬ。童貫
大に怒りて。又六百餘人のみ練速者を捕ひ右水へ入り漁人
と共へいむ。投へざらば一刀も腹とぐく切
殺すべしと申さるぬ。五百餘人各甲冑を脱棄し
水へ飛入り度お吐と喊とつくりり。彼漁人の少も慌てを時
に取れお立ち。童貫と共。大に罵く云を礼に滅亡氏と害
まの禽獣自ら腹の制限と初。只我々軍へ向ふの恰も端
端の弁と撥く陸軍を射するうどし今眼お死すべしと大に叫
りりぬ。童貫はうり大に怒り。左右へ下知し。為のどくお怒り
と。めりぬ。彼漁人何々と大に笑ひ。義教は童貫と腹棄て水

中へ飛入り。童貫は漁人の梁山泊の既水練の速者浪裏白
跳張ん。水へ載せ。童貫も身お死し。童貫の書面お替
細のへど。童貫の腹のどくお飛り。童貫の腹のどくお飛り。童貫の腹のどくお飛り。
と射らす。遂に遠江と能りぬ。時六百餘人のみ練。彼漁人を投
んとし。はや枝と為りぬ。忽ち水へ入る人々も。水中へ引入りぬ。水
軍大に怒り。童貫を逐回らんとす。処に張帆の水へ入ると。刀と撥ち。挑
次お切つれぬ。六百餘人のみ軍も。童貫の水中へ死てり。諸も大に
る湖の唇血お染りぬ。童貫大に怒り。童貫と共。大に罵く。童貫と共。大に罵く。
貴の傍におる者告てり。梁山泊の山寨おとせたる貴。童貫は
お初まひと。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。
どういふれば。大に怒り。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。童貫は。

知して十餘万の軍勢と三子となく。沈小岳前の立盧草系をおぼけ
 らふ多ら向人の立盧草の間より一歩の裏天砲と放ちりれば天比由
 崩ろくわうりやう。軍の騒初りてめなす。而軍の士卒亦来く云
 山東山西すべし。敵軍の伏去と告りれば。曹貴大お怒りて急
 ぎ都員畢務と召く。而後以都員畢務が云。極おて必と憂へ
 うみわとて。さうまう刀と抜りら。軍お来り。大お怒り云。わい欲
 と恐れ逃る者あへば一刀お吹べしと制しりれば。三軍日暗く静
 つく。又へおりる。曹貴はる所おせふ。山寨の方と望む。忽ち鼓
 のお天お震ひ。一彪の軍る地来る。若くお貴なる誰とさげて
 喊と吐とけり。ま川をせん。大わの梁山泊の沈小岳
 云。并全之。後お扱へる大わの。何とく挿翹虎雷横く。二人の大わ各

突駿る。小お系。小軍勢と持。五子の軍勢と引牽く。て。重貫
 が軍。攻。重貫。都員畢務。令。て。敵。と。迎。む。
 時。畢務。小。澹。と。挺。へ。と。躍。し。沈。お。お。大。お。罵。く。云。休。ら
 小。斌。能。す。天。玄。の。お。り。う。ふ。お。沈。系。さ。び。く。欲。す。わ。の。自。死。
 と。お。ろ。ふ。あ。へ。び。や。と。呼。り。う。り。ん。が。雷。横。せ。て。上。お。大。笑。く。と。り。み
 汝。り。令。情。く。ふ。お。く。ゆ。べ。し。お。我。お。奴。向。り。で。立。処。お。死。す。べ。し。と
 呼。り。れ。ば。畢。務。大。お。怒。り。る。お。拍。お。澹。と。挺。く。お。け。る。雷。横。由。ま。と
 澹。と。挺。火。花。と。散。り。戦。ひ。り。り。凡。幾。人。と。二。十。餘。合。な。れ。せ。と。諸
 級。と。も。ぞ。ん。が。都。員。焦。く。る。と。躍。し。刀。と。舞。し。畢。務。が。戦。と。脚。人
 と。お。く。う。ん。が。軍。中。より。も。并。全。を。と。躍。し。刀。と。舞。し。都
 員。と。戦。ふ。口。人の。猛。わ。疎。前。お。戦。く。つ。ま。諸。負。は。う。り。り。り。曹。貴

馬より入るんが威ド入くぞ居りりる。その時、赤全雷横ののり
 伴りまけ。馬と馳く幸臨ふ近ゆりりる。都兵畢務あねい務
 子業うると馳進うりりり。再び引回さんとすう。又赤全雷横
 へ一着く突戦ひるる。重貫三軍命令。金と鳴り、鼓と也
 め。都兵畢務ととすけ。既ふ山辺お進ゆりふ。忽ち山上お畫角の
 音頻りふ。軍兒山より。火砲とすりん。重貫は伏撃め。とと知
 る。法軍と止め。進ふふと屋ふ。山上お一本の黄色の旗とと。上
 面お金笏お。替日天行道の四字と繕せり。重貫ると山辺お止め
 て。子細お山寨の因と望む。一霧の絲絲と立並べると。一人の大
 將馬上お端坐せり。是れ鄆城縣蓋世の英雄。山東の呼保義宋云
 明。背後お抄へうら。軍陣善用。公孫務。たの方お許美の全

徐を立かう。一、善しお立。大将ハ小亭。廣花。宋なり。重貫ハ人々
 大お怒り。宋おとらふせん。とて十万人と二もと。攻の不
 らんとせ。一、知お。山上、忽ち、宋の、さう。一、宋、江と、さう。宋の、敵
 軍一、度お、味と、笑ひ、り、れ、が、喜、費、い、り、く、怒、く。甚と、嘆、く、罵、り
 云、く、俺、天、お、送、入、の、賊、冠、い、ん、と、天、お、戯、れ、る、や、我、服、お、捨、お
 ず、べ、し、と、程、も、三、軍、お、下、か、し、山、と、く、攻、よ、う、ん、と、せ、一、知、お、都、兵、畢
 務、海、く、云、樞、相、必、と、も、や、ま、う、う、ん、べ、く、は、故、く、必、と、針、お、う、ん、も、こ、ろ
 り、く、り、り、敵、の、好、斗、お、房、入、く、險、地、お、お、う、が、後、悔、を、う、や、さ、さ、さ
 ま、い、一、度、お、地、と、引、進、き、必、と、進、き、因、お、敵、の、虚、実、を、お、極、を、時、お、ま
 と、ま、ん、も、進、く、ま、う、と、宣、く、れ、せ、重、貫、ハ、怒、ら、れ、ど、是、北、お、ま、を
 を、お、く、今、夜、の、因、お、宋、江、と、捨、お、せ、と、ん、の、死、す、と、も、ゆ、う、ま、い、と、改、お

軍勢を引率し。一町をりもをこし。処お忽ち後の方お喊の聲に
後軍大お乱し。大重貫大お怒り。都元畢務とせおいし。此
後軍お降り來り。救へ時。東山の辺にお又鼓の音し。一鼓の款
軍勢のうぐぐぐ。攻めるたの方より。進んごと。大將の霹靂火。泰
明なり。お小狼牙根と掲げ。後へお進み軍。皆紅色の旗と掲げ
たり。右の方より。進んごと。大將の大刀。突傷の音。お憊月力と掲げ
お入り。軍をの皆。皆文の旗と掲げたり。三人の大將。各五百鎧の軍
勢。引率し。大重貫大お怒り。呼つ。云。大將お呼つ。云。大將お呼つ。云。
汝が事を。汝さべし。と罵り。汝れが。大重貫大お怒り。都元畢務
に。軍勢を迎へし。畢務お令じ。秦明を迎へし。時。四人の
猛將の秘術と。そし。て。戦ひ。なり。重貫お入る。よ。より。四人の。戦と。と。て

ありしが。忽ち。又。後軍の方。お喊の。聲。あ。たり。お。怒り。くれ。が。味。方。お
驚。り。あ。ら。ん。と。と。お。れ。ま。ご。金。と。ら。し。て。軍。と。收。め。都。元。畢。務
と。せ。お。退。ん。と。せ。し。処。お。大。將。全。雷。横。又。軍。勢。を。引。率。し。お。後。より
夾。ん。ご。攻。め。られ。が。重。貫。が。軍。を。大。お。乱。れ。し。討。つ。共。敵。と。志。し。都
元。畢。務。の。重。貫。と。拮。つ。ま。り。圍。と。切。ぬ。け。這。く。幸。々。人。を。逃。れ。
十。里。ご。り。退。き。し。処。お。又。刺。斜。表。より。一。鼓。の。款。軍。勢。來。る。た。の。方
より。ま。ま。と。來。る。大。將。の。雙。鞭。將。呼。延。物。なり。ま。ま。お。双。鞭。と。れ。後。お。従。り。の
軍。勢。の。右。白。色。の。旗。と。掲。げ。り。又。右。の。方。より。ま。ま。と。來。る。大。將。と
豹。子。頭。林。冲。ん。お。小。長。と。陰。と。掲。げ。り。後。へ。お。従。り。軍。勢。の。各。色。の
の。旗。と。掲。げ。り。一。人。の。人。將。る。よ。お。叫。ぶ。云。奸。臣。大。將。重。貫。何。由。人。逃
んとす。や。ま。ま。汝。が。頭。と。後。ま。べ。し。と。て。お。小。將。中。へ。切。入。り。れ。が。友。軍

の方より彼離別の如監後勝卷の呼延灼を迎へ如公の如監する
 可里の林冲を迎へ右大花とらし戦ひし去り馬方里の林冲
 と戦ひいまど教令おとらふ叶はずや思ひらんさうとて逃
 とせし処ふ林冲大お叫ぐ逃れれば大お慌てりお持する陰
 と影しるれば林冲絶勢も中の陰と紅おし一陰する百里と
 突られざるより影く死く。後勝卷の最前より呼延灼と戦
 ておしがる百里が款軍お殺さるを又て戦ひと交するふんさ
 く。と逃しと逃れれば呼延灼の勢ひお急ぐ逼迫く改お危く
 へるる処ふ重貴多くの軍勢と引率しう。後勝卷と助け
 山迎とさる処お多ら減のお天お震く。皆後より一お發の歩武
 者重貴が軍おおくる。まおおまきし和おへ花和お魯智深

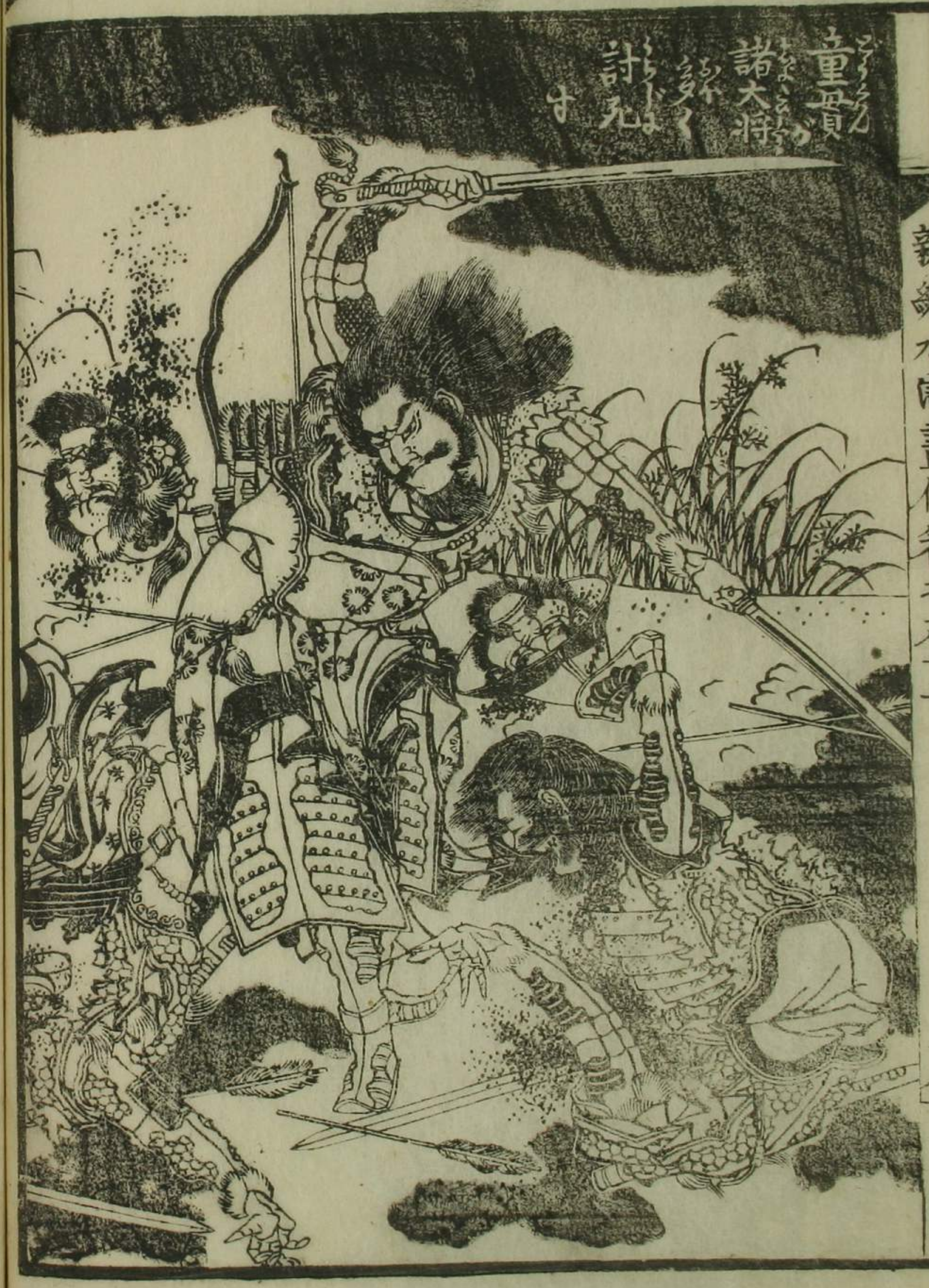
てお逃れ林冲と提く。雷のどく吼ある。後お終るをさうしお老の
 乃お武松なりおふおあかとおくお飲うるれば重貴が軍勢大お
 おん。まど戦ひしう。大おれれ。四方の影おあはれり。重貴のお
 後お款と引率しを退らしまう。いうんせんと慌たれば都員畢
 猪馬と馳来り。重貴と助けく重圍と切わけ。幸さ命令と腹れ
 く。湖山本の海お逃来り。体息せんとせし処お多ら向人の山迎
 砲のお天お震ひ。敵のお地と動し一影の款軍絶来り。まお先
 おをし二人の大お解法解室足中なり。おおおお腹綱又
 と提げ。件多の軍勢と引率しう。陣中お切来り。重貴が軍勢
 一邊お逃れ四方おあはれ。山泊の軍勢。巧法火急お逃来
 れば都員畢猪の重貴と助けく。一二里さるる逃逃る処へ解

解宝を細又と提大勢守るといふあり。此の重貴がらるるあり。
 吹くうらむ。都員畢務死く久し。皆く解宝と残ひ。
 びやくく。み刀弱り。改不危く。えんる。知小。唐州の於監韓天麟。都員
 の於監王養の二ねると。此れあり。都員畢務とゆけ。漸く重圍と
 切ぬけ。王重貴小従く。又二里むりの所と。さる。多ら。向ふ。柵の
 中。小雁の音して。一族の歌。軍塵と。ゆき。此れあり。ま。さ。ふ。と。
 一二人のたぬ。双陰の董平。あ。せ。ん。海。當。起。り。お。ひ。ふ。去。養。と
 持く。又。小。一。と。も。い。ひ。べ。る。と。死。一。重。貴。小。お。を。か。り。り。れ。ば。王。義。
 陰と。提く。索。起。と。遠。く。い。ろ。が。重。貴。中。の。弁。と。揮。上。く。王。義。の
 死。と。一。歩。小。勝。り。れ。ば。王。義。の。馬。より。落。く。死。く。り。り。韓。天。麟。の。王。
 義。と。救。え。ん。と。も。も。ら。陳。希。小。池。出。し。ふ。董。平。陰。と。提。く。只。一。

柵ふるより下小突。死。し。を。割。ひ。る。都。員。畢。務。の。令。限。
 り。小。重。貴。と。助。け。く。走。り。ろ。う。が。右。右。と。ぐ。く。全。敵。の。老。し。て。歌。
 軍。潮。の。響。り。く。改。来。れ。ば。重。貴。が。守。勢。大。小。れ。く。風。流。重。貴。小。弁。
 走。り。主。里。貴。大。小。守。り。さ。い。う。が。い。せ。ん。と。慌。く。り。知。小。忽。り。仰。つ。の。山。る。よ。り
 一。族。の。軍。を。弛。来。る。重。貴。死。と。案。く。達。小。重。く。れ。ば。皆。諸。員。の
 於。監。兵。兼。蔡。許。の。於。監。李。明。の。あ。ゆ。め。に。時。兵。兼。蔡。許。李。明。の
 放。強。の。軍。勢。を。集。め。り。淋。浪。山。より。近。来。り。重。貴。が。軍。と。助。け。助。く
 一。方。の。重。圍。と。切。抜。走。り。んと。せ。り。知。小。又。た。の。言。れ。山。遠。小。噴。の。を。大。小
 起。り。一。族。の。歌。軍。弛。出。れ。右。子。小。紅。の。影。と。提。げ。り。ま。さ。ふ。を。こ。り。
 二人のたぬ。青面。黙。揚。志。九。致。重。史。を。ん。各。敵。を。小。お。あ。ふ。小。力。と
 提。希。と。提。り。切。て。い。ろ。う。が。侍。李。明。の。陰。と。提。く。揚。志。と。殘。ひ。兵。兼。



竹三郎大將討伐傳卷之六十一



童貫
諸大將
討伐

新編水滸畫傳卷之六十一

爨の方天戟と持く。史をと。賊人の人の猛將等。各平為の秘術と
 して。賊人と二十餘合。時呉秉燹の方天戟と。揮よく。史を
 へ放へ。吳掛より。史をよも。方と。閃く。呉秉燹が。突掛る。戟。史
 との。振れ下。呉秉燹。へ。ふ。か。から。史。と。か。の。口。を。付。れ。史。を。へ。お
 も。刀。と。揮。と。呉秉燹。の。臂。面。と。切。付。ら。る。あ。そ。る。よ。う。な。り。李。明。の。血
 前より。揚志。と。或。て。わ。じ。ぶ。今。目。前。は。呉秉燹。の。故。の。ま。め。殺。ら。る。と。を。強
 病。風。や。起。る。ん。勿。馬。を。返。し。逃。れ。と。揚志。勢。あ。ま。を。追。信。し。呉。明。魂。き。え
 魄。お。ん。ご。て。平。中。の。傍。と。あ。證。て。已。お。坡。の。上。逃。れ。と。ん。ま。し。と。揚志
 大。お。叫。ん。ご。刀。と。揮。上。騎。回。り。切。り。れ。李。明。の。透。さ。れ。方。と。閃
 る。お。揚志。う。切。付。ら。る。刀。李。明。が。あ。ら。る。の。後。脚。と。切。落。せ。り。被。馬。大
 子。斯。く。死。ん。ご。泡。出。し。李。明。の。う。り。あ。ら。る。と。揚志。子。早。く。刀

と。揮。と。李。明。の。そ。と。と。お。け。り。去。程。お。史。を。揚志。の。呉秉燹。李
 明。と。お。れ。勢。あ。ま。し。と。李。明。の。陣。お。攻。入。あ。ら。る。と。李。明。の。軍。と。攻
 ま。り。り。れ。い。重。貫。が。こ。も。大。軍。り。し。も。今。の。後。お。お。り。れ。皆。四
 方。へ。七。逆。散。り。り。重。貫。の。呉秉燹。李。明。の。あ。お。と。眼。前。故。お。お
 ら。れ。れ。も。方。の。郭。吳。畢。緒。と。せ。ら。る。幸。れ。命。と。取。れ。く。又。お。里。ご。り。り
 由。逆。逃。れ。れ。四。面。八。方。ご。ご。く。敵。軍。か。り。り。れ。い。う。ん。せ。ん。と。慌。て。ら。る
 郭。吳。が。云。極。お。必。と。憂。へ。の。い。と。な。る。れ。系。上。南。の。方。と。屋。じ。お。殺。味
 郭。の。軍。を。ま。く。あり。と。こ。ん。と。り。八。海。の。軍。勢。の。強。由。多。く。足。と。ん。い。の
 系。一。節。の。方。と。切。抜。身。郭。の。殘。を。集。め。來。る。と。極。相。の。畢。緒。故
 鏡。と。共。お。那。辺。の。山。法。お。侍。り。へ。と。と。官。お。り。り。重。貫。が。云。既。よ
 日。暮。め。も。な。り。り。れ。い。休。あ。く。去。る。お。く。必。と。故。の。針。お

落へうびと制しつゝ。鄧英おと臺費おお解し。たふ大揮
 刀と提くる。と飛し。款軍と切破り。書方おとせ。身方の残軍成
 存おる。知よ。向人の方お一簇の軍を屯せし。は。鄧英近よりく。屋
 られ。書方の於監固に。去馬なり。は。時。固に。鄧英が来るとを。
 向し。樓へ。海中。お侍。して。向く。い。極。お。今。何。知。お。居。り。や。鄧英
 け。お。只。向。人の。よう。け。お。畢。緒。と。共。お。待。り。お。は。ま。く。け。軍。勢。と。引。連。く
 救ひ。の。べ。へ。お。逃。延。せ。わ。い。く。べ。へ。固。に。お。文。し。款。軍。勢。は
 號令と下し。隊伍とせ。あへんと。齊し。か。と。併。せ。し。わ。向。し。鄧英と
 若。ま。お。お。糸。く。ま。お。先。お。を。と。金。と。鳴。し。款。と。お。わ。く。山。城。の。辺。お。切。断。
 赤。一。里。の。所。と。過。ご。う。お。又。刺。斜。里。より。一。簇。の。軍。を。お。出。し。く。向。し。鄧
 英。と。躍。し。刀。と。舞。し。と。切。り。つ。れば。款。軍。も。あ。ら。ど。是。離。及。の。於。監。固。

鵬。卷。か。り。時。お。三。人。の。大。物。軍。勢。と。一。処。お。な。り。山。陰。お。絶。お。り。臺。極
 と。接。へ。け。り。ち。後。お。臺。費。の。味。方。の。残。軍。と。覆。り。着。添。し。て。曰。く。我
 輩。今。夜。の。中。お。脱。れ。く。好。ん。や。明。朝。お。お。く。切。ぬ。く。べ。へ。や。と。彈。矢
 ま。う。ら。つ。く。か。り。鄧。英。が。玄。我。ら。四。人。死。す。と。も。極。相。と。即。け。今。宵。の。内
 お。款。の。軍。圍。と。切。断。し。つ。つ。城。の。邊。を。免。る。べ。へ。逃。延。し。て。明。朝。お
 出。ら。れ。却。り。大。軍。お。及。ぶ。べ。へ。と。宣。せ。れば。臺。費。お。む。こ。と。と。日。の。暮。る
 る。と。ん。な。ま。し。若。准。儀。と。り。お。り。り。己。お。二。更。の。比。お。な。り。し。く。お。わ。ら
 四。方。お。城。の。旁。大。お。起。り。款。の。大。軍。金。を。な。り。し。鼓。を。お。く。攻。ま。す。
 鄧。英。の。陳。布。お。絶。お。り。四。方。と。響。む。お。そ。夜。の。初。し。く。星。月。明。朗
 な。り。し。久。池。扉。お。軍。お。下。知。し。て。臺。費。と。お。り。し。め。そ。る。方。か。る。と
 馳。く。ま。せ。ん。と。を。こ。互。お。力。と。併。せ。て。山。城。の。下。ま。て。切。り。つ。れば。

前後の款軍返來り。声く小鳴く云々。貴倭臣と脱すとあり
 れと。多量貴軍勢はくこと。宥めと苦戦をたす。西面の音く。流るる
 ナ。己ふ三更の比。ゆもなう。く。敵軍の埃んと切めけり。れ。大
 お板ひる上より天地を頂れ。神明と指く。後く。目奪し。我
 天の機と。け。け。場の大難と免き。り。とて。應。共。敵。の。軍
 云と。裂く。跡。み。小。遠。人。と。く。彈。後。未。と。終。く。さ。り。ふ。忽。ち。向。人。の。山。坡
 の。下。より。許。多。の。大。把。屋。の。如。く。お。思。く。喊。の。聲。天。小。雷。さ。一。後。の
 敵。軍。馳。來。る。け。お。作。と。次。卷。と。足。へ。

新編水滸画傳卷之六拾肆

